

## 中東問題について

最近、第五次中東戦争が起こるのではないかと恐れられるほどにイスラエル・パレスチナ情勢が問題となっています。テレビや SNS を通して、問題になっているという事実を知っている人は多いと思いますが、なぜ中東問題が起こるのか、何を目的に争っているのか、などをしっかり理解できている人は少ないと思います。

そこで、今回は社会科の佐藤元紀先生に昨今の中東問題（パレスチナ問題）についてお聞きし、まとめてみました。



- パレスチナ問題とは、中東地域（パレスチナ地方）で起こっている領土問題のこと。長い歴史のなかで迫害を受けてきたユダヤ人が建国したイスラエルと、イスラエルの建国で故郷を追われたアラブ人との間で領土問題が生まれた。
- 過去の中東戦争によって、パレスチナ人の居住地域はヨルダン川西岸地区とガザ地区に限られた。和平交渉が失敗したのち、ヨルダン側西岸では穏健派「ファタハ」が、ガザ地区では過激派「ハマス」がそれぞれ実権を握ることになった。
- 2023 年 10 月 7 日、ハマスがイスラエルに攻撃をし、現在の緊迫した状況になっている。ハマスによる攻撃を受けて、イスラエル軍はガザ地区での軍事作戦を開始した。ガザ地区での死者が数万人を超えるなかで、女性や子どもが犠牲者の大半を占めることなど、イスラエル軍による攻撃の実態が報道されるなかで、国際的な批判の声が高まっている。



### 目次

- P1：中東問題について  
P3：先生方による  
    本紹介  
P5：学校説明会  
P6：文化祭を  
    振り返って  
P7：図書委員の仕事  
    ・編集後記

最近になり、イスラエルとハマスの間で戦闘の休止と人質の解放に向けた交渉が進められています。しかし、根本的な問題を正さなければ完全な解決には繋がらないのではないのでしょうか。

少しでも中東問題に目を向け、理解できるように中東問題に関するおすすめの本を紹介します。少し、難しく堅い内容の本も多いですが、これからの未来のために一冊でも手に取って読んで頂けると嬉しいです。

### 1. 『イスラエル：人類史上最もやっかいな問題』

著:ダニエル・ソカッチ 出版社:NHK 出版 227.9/S

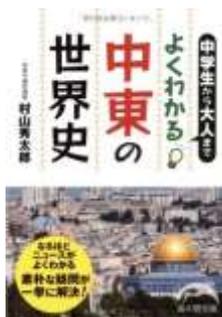


「知らない」では許されない、世界が注視するイスラエルを知るために絶対読むべき本。人口 1000 万人に満たない小さな国であるイスラエルがどうして世界的にニュースにとりあげられるのか、なぜ紛争は繰り返されるのか、解決する方法はあるのか。

国際社会を生きる私たちが知っておくべきことが凝縮された一冊。

### 2. 『中学生から大人までよくわかる中東の世界史』

著:村山秀太郎 出版社:新人物往来社 227/M



常に争いの絶えない中東。しかし、なぜ争いが起こっているのか、今の私たちがしっかり理解するのは難しい。その中東について分かりやすく書かれている。この土地の歴史を理解すれば、世界の歴史も見えてくる。そんな中東について興味がない人も手に取りやすい本。

### 3. 『となりのイスラム：世界の3人に1人がイスラム教徒になる時代』

著:内藤正典 出版社:ミシマ社 167/N



タイトル通り、イスラム教徒への理解が進む一冊。非ムスリムの視点からイスラム国家の行動理念などについて理解できる。私たちと根本の考え方が違うことを前提にお互いを尊重したいと思えるようになる本。

## 先生方による本紹介

今年は各学年の学年主任の先生にご協力いただき、先生のおすすめの本を紹介することにしました。皆さん、知っている先生はいましたか？それぞれの先生の個性が溢れているので、楽しみながら読んで頂けると嬉しいです。ご協力頂いた先生方、ありがとうございました。

## 2023 年度 J1 学年主任 西岡先生

## 『菜の花の沖』

著:司馬遼太郎 出版社:文春春秋 913.6/シ/1~6

江戸末期の豪商、高田屋嘉兵衛の生涯を描いた歴史小説。  
淡路島出身、船乗りから身を起こし、廻船業（海運業）で名を馳せた。  
また日露交渉等、日本の近代化の一端を担った。

今、混沌とした世界情勢の中、身を呈して、経済・外交に活躍した兵庫の偉人の生き様を、この夏、是非読んでいただきたい。



## 2023 年度 J2 学年主任 辻本先生

## 『クスノキの番人』 著:東野圭吾 出版社:実業之日本社 913.6/Higa

人の念をそのまま伝える不思議なクスノキとその管理人になった青年クラノキに念を預けに来た人と受け取りに来た人をめぐる物語。人の気持ちは一概的に言葉で伝えられるものではない。だからこそ、そこに想いがある。想いを大切な人に伝える、また受け取る側にも想いがある。この作品は人と人とを繋ぐ想いを巧みに表現された作品です。読み終えたときの心地良さは格別です。是非、読んでみてください。続編『クスノキの女神』は 2024 年 5 月刊行。



## 2023 年度 J3 学年主任 松本先生

## 『君たちはどう生きるか』

著:吉野源三郎 出版社:マガジンハウス 159.5/Y

旧制中学 2 年のコペル君は、宇宙的な観点から日常の出来事や歴史的  
事実に秘められた真実を見出していく。「ナポレオンはなぜ偉大な  
か？」あなたならどう答えるか！？



## 2023 年度 S1 学年主任 宮内先生

## 『筋トレは必ず人生を成功に導く』

著:Testosterone 出版社:PHP 研究所 159/T

「筋トレ」を別な言葉に替えても、何でもいける。  
要は 1 つのことに熱中することが大事！？



## 2023 年度 S2 学年主任 大辻先生

## 『風が強く吹いている』

著:三浦しをん 出版社:新潮社 913.6/ミ

三浦しをんの作品は、文体に癖がなく淡々と物語が進むので、すらすらと読めるのですが、それでいて登場人物に感情移入してしまう筆力はすごいと感心します。どの作品もおもしろいですが、箱根駅伝を舞台としたこの作品を。TV アニメもおもしろかったです。



## 2023 年度 S3 学年主任 森先生

## 『他者という技法：コミュニケーションの社会学』

著:奥村隆 出版社:筑摩書房

皆さんが大学に入って、社会学の講義を受ける機会があれば、その時必ず、皆さんが受けてきた「社会科」と「社会学」は違うので間違えないように、と言われると思います。社会科は、この世の中の仕組みについて学びますが、社会学は、そもそも私たちがなぜ仕組みを必要とするのかを考えます。

たとえば…私たちは誰かの前で「ふりをする」。友だちの前で楽しいふり、先生の前でわかっているふり…親の前でも。自分って嘘つきだなあ、って思いますか？無理してると感じて苦しい？もしくは割り切っている？「ふり」がいいことか悪いことか、ではなく、なぜ私たちは「ふり」を必要とするのか、そのことで私たちは何を維持しているのか、それを見つめるのが社会学なのです。この本は、私たちが誰かというために（言ってみればこの世界を成り立たせるために）日常的に行なっていることを、あえて取り上げて考える、そんな 1 冊です。社会学の入り口としてはちょっと難しいんだけど、将来入り口としてはちょっと難しいんだけど、将来、社会学を学ぶことによって救われるであろう人へ向けて、救われた一人である私から、この本を紹介します。いつか一緒に読めたらいいですね！



## 学校説明会



今年度の学校説明会では「絵本かるた」を実施しました。「絵本かるた」とは、絵本の表紙を取り札、絵本の中の文章を読み札とし、読まれた文章が入っている絵本の表紙を取り合い、1番多く札を獲得した人が勝ちというゲームです。

『桃太郎』や『はらぺこあおむし』など有名な昔話や絵本から『パンダ銭湯』など少しマイナーな絵本までたくさんの種類の取り札があり、学校説明会に来てくださった方はもちろんのこと、私たちも楽しむことができました。



「おじいさんは、毎朝、山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に出かけました。」

「犬はひとつもらって、お供をしていきました。」

「鬼が島には、大きな鉄の門が閉まっていた。」



「おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川で洗濯をしていました。」

「洗濯物に糊をつけようとする、糊はおじいさんの雀たちがなめて全部なくなっていました。」

「おじいさん、お土産につづらを持って帰ってください。重いのと軽いのと、どっちにしますか。」

## 文化祭・Book-Onを振り返って

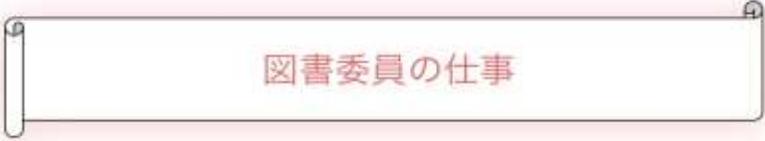


今年度も古本回収にご協力いただきありがとうございました。長期間にわたり、回収することで、多くの本を寄付して頂くことができました。新型コロナウイルスが5類になり、制限のなくなった文化祭で、中学3年3組で実施した古本市『Book-On』に来てくださった皆さん、本当にありがとうございました。

また、今年度に作成、発行した『のほ本』のうちから3ヶ月分を展示しました。



昨年度から販売している雑誌も俳優やアイドル、ミュージシャンなど人気のものが多く、たくさん販売することができました。



## 図書委員の仕事

### 〈カウンター当番〉

年に 2～3 回放課後に図書館のカウンター当番（本の貸出、返却）を行います。  
また、返却された本を書架に戻すこともします。本の紹介などのポップを書くこともしています。

### 〈のほ本〉

毎月発行する『のほ本』の原稿を書いてもらいます。各クラスにあたるのは、年に 1～2 回で、皆さんに読んでもらいたい本を紹介します。

### 〈蔵書点検〉

3 月の家庭学習日を利用して、図書館の本が本来の場所に返却されているのか、本の有無の確認を、ハンディターミナルを使用して行います。

### 〈Book-On〉

文化祭の古本市『Book-On』では、古本の販売や呼び込みの仕事をします。

## \*\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*\*

新しくなったデジタル版館報を最後まで読んで頂き、ありがとうございました。

『のほ本』の作成時には、毎月デザインを考えるのに苦労しましたが、何とか最後まで作り、発行することが出来ました。図書委員長としての 1 年がつまった『館報』を完成させることができ、嬉しく思います。

1 年間、ありがとうございました。

図書委員長 瀬川真里奈

普段なかなか図書館に行く機会がない方もいらっしゃると思いますが、この『館報』が少しでも本に興味を持ったり、図書館へ足を運んだりするきっかけとなればうれしいです。

1 年間ありがとうございました。

図書副委員長 住徳優香

館報を最後までご覧いただきありがとうございました。

この 1 年間共に活動した図書委員の皆さん、たくさん助けた下さった司書の方々 幸森先生、本当にありがとうございました。

